

「スマートライフ推進協創プロジェクト」 平成27年度第2回推進会議の概要について

「スマートライフ推進協創プロジェクト」平成27年度第2回推進会議（みえスマートライフ推進協議会 第10回企画・運営委員会）を平成27年9月14日（月）に開催しました。

会議終了後、三菱化学株式会社四日市事業所内のKAITEKI SQUARE 四日市を視察しました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「スマートライフ推進協創プロジェクト」委員

※敬称略、カッコ書は役職

＜委員長＞

並河 良一（帝京大学経済学部教授 大学院経済学研究科教授）

＜副委員長＞

坂内 正明（三重大学大学院地域イノベーション学研究科教授 スマートキャンパス部門長）

＜委員＞

生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）

小西 千晶（株式会社東芝 コミュニティ・ソリューション社事業開発センター地域エネルギー担当参事）

樋田 直也（本田技研工業株式会社 事業企画統括部 スマートコミュニティ企画室長）

濱田 康資（株式会社百五銀行 取締役営業渉外部長）

※濱田委員はご欠席

林 宏行（大和ハウス工業株式会社 営業本部営業推進部 大阪法人第一営業推進室 担当部長）

半田 敬信（三菱化学株式会社 情報電子OPV 事業推進室付け 国立研究開発法人理化学研究所産業連携

本部連携推進部 実用化コーディネーター）

藤田 真人（富士通株式会社 三重支店長）

＜推進会議の進行概要＞

会議の進行概要は、以下のとおりです。

開会 15:00

議題

（1）新エネルギービジョンの中間案の原案に係る意見交換

（2）事例研究

閉会 17:00



（事務局からの説明）

事務局より、三重県新エネルギービジョンの中間案の原案について、説明を行いました。

（新エネルギービジョンの中間案の原案に係る意見交換）

続いて、並河委員長の進行により、新エネルギービジョンの中間案の原案に係る意見交換を行いました。

※委員からの主な意見

○三重県では、産業部門のエネルギー消費が、

約6割と高く、基本方針にある家庭と事業所における省エネの内容は違うので、各々について、より具体的に記載することは必要。

○県民の視点で見れば、このビジョンの策定により、例えば電気料金など自分の生活がどうなるのかという視点が重要。

○伊勢神宮を始めとした文化や豊かな自然がある三重県では、新エネルギーを導入し、新しいライフスタイルにつなげていくことが必要。

○導入目標を設定する際に、同じような自然特性のある他県と比較する視点が重要。

○新エネルギーを防災まちづくりにも活用する視点が重要。

(事例研究)



三菱化学株式会社四日市事業所内の
KAITEKI SQUARE 四日市の視察の様子

次回（第11回）の開催予定

次回の企画・運営委員会については、平成27年11月頃に行う予定です。